

人工哺育でスクスク マレーバクの赤ちゃんが生まれました。

東武動物公園(東武レジャー企画㈱、埼玉県宮代町、社長:日置岳人)では、平成 28 年 11 月 8 日(火)に、マレーバクの赤ちゃんが生まれました。

当園では、オスの「トム」、メスの「シンディー」、このペアから平成 24 年 8 月に生まれたオスの「ヒコボシ」、3 頭のマレーバクを飼育しています。

シンディーのお腹が大きくなり始めたのは今年の 5 月頃。それから 6 カ月が経ち、予定日の 10 月下旬を迎えましたが、赤ちゃんが出てくる様子がありません。“お腹の中で死産してしまったかも・・・”、飼育係の頭に不安がよぎり始めました。

11 月 8 日の夕方、園ではイルミネーションの取り付け作業の真っ最中。動物園では、動物たちを寝部屋に収容する時間です。その時です。シンディーに出産の兆候がみられました。“生まれる!”すぐさま飼育係は獣医に連絡を取り、部屋を暖めるストーブなどを取りにその場を離れました。1 時間後、獣医とともに寝部屋に戻ると、シンディーの隣には黒地に白のまだら模様の赤ちゃんがいました!シンディーは赤ちゃんの体を舐めていましたが、しばらくしても授乳をする様子がありません。また、生まれてきた赤ちゃんは平均体重よりも軽かった為、このままでは赤ちゃんが危険と判断し、当日から人工哺育に切り替えました。

現在、赤ちゃんは 1 日 5 回、飼育係がミルクを飲ませ元気に成長しています。皆様へのお披露目については、12 月下旬頃を予定していますのでもう少しお待ちください。

※一般公開前のマスコミ取材につきましては、授乳時間(10 時 30 分、13 時 30 分、16 時 30 分)に限らせていただきます。お問い合わせください。

マレーバク個体情報

種 名:マレーバク

生年月日:2016 年 11 月 8 日(火)

名 前:まだ決まっていません。

性 別:メス

●父「トム」

●母「シンディー」

2004 年 8 月 22 日生まれ 1998 年 3 月 26 日生まれ

2007 年 10 月 22 日搬入 当園生まれ(人工哺育)



マレーバクの赤ちゃん(2016.11.13 撮影)

マレーバクについて

体長 1.8~2.5m 体重 250~540kg 絶滅の危機に瀕している希少種です。森の中で生活するマレーバクは視力が余り良くないため、鼻が発達していて、においや音に対してとても敏感な動物です。泳ぎが得意で、敵に襲われた時などは水の中に飛び込んで逃げます。黒と白の体の色は、月明かりのさす森で、闇夜に隠れながら水草や果実、草、小枝などを食べるための保護色です。生後 6 カ月以内の幼獣には白い縞模様が見られます。

〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画㈱ 業務部 山口・中嶋・前田・白石

TEL 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>